

# 行ってこーわい 会ってこーわい

## 「松前町陶芸教室」

一人で熱中+みんなで親睦

No. 58

『世界で一つだけの作品』を自分で作りながら、ときには雑談をしながら、和気あいあいとやっています」と話すのは重川源さん=新立=。松前総合文化センター北側にあるプレハブで活動する松前町陶芸教室の部長です。教室のメンバーは52人。5班に分かれて、活動しています。

重川さんと一緒に始めた大政千津子さん=恵久美=と友澤千春さん=本村=。大政さんが「陶芸の魅力は一人で夢中になれること。プラスこの教室は、みんなと親睦ができる」と話せば、友澤さんも「ものを作るのも好きだけど、みんなと話すのも好き。休憩時間には、みんな自分が最初に作ったコップを使って、お茶を飲みます。思い入れもあって、話も弾みますよ」とにっこり。そんな教室の雰囲気、初めてまだ1年という中村正樹さん=永田=と、今回が4回目の参加というラレットさん=愛媛大学留学生=も、「自分らしい作品づくりに集中できる」「リラックスできる。楽しい」と話し、居心地の良さを感じていました。

「一人で作品づくりに熱中できる+みんなで和気あいあいと親睦できる」。陶芸教室には、正反対の二つの魅力が見事に融合していました。



1. メンバーは思い思いの食器や花瓶などを、集中しながら、楽しみながら作っていく
2. ろくろを使うときは「無の境地」という友澤さん。指先に全神経を集中させる

### ▼編集後記

青葉幼稚園の田植え大会の取材に行ってきました。同大会は、子どもたちに農業に触れる機会を与えようという行われています。足を取られて泥だらけになりながらも、一生懸命に苗を植える子どもたち。私も負けじと水田に入り、写真を撮りました。結果、見事に足を取られて、尻持ちをつくはめになりましたが、大人でも農業の大変さに触れることができる良い機会となりました。(松田)

「はあ。はあ。せえ。せえ」  
ウオーキングしている皆さんは、本当に元気です。息切れするのは、運動不足の私だけ。家でごろごろしている自分を反省しました。今週末は車を使わず、ウオーキングしたいと思います。

今回、ウオーキングの取材をする中で、松前町内のいろいろな場所から、朝日や夕日を見ました。どこから見てもきれいで、心が落ち着きました。皆さんも、ぜひウオーキングしながら見てみてください。(久保)

Proud!  
Japan

※日本文化の発展を支援しよう

## 広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧ください。

### ◆広告掲載枠

広報まさきの裏表紙

(下欄3枠、1枠の大きさは縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー)

### ◆配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

### ◆広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

☎総務課広報情報係 ☎985-4132